

沖縄・普天間基地への

オスプレイ配備中止を求める

7・11 集会

沖縄県民の命を危険にさらし、墜落と死の恐怖の押し付けを許さない!

日本政府は、沖縄県宜野湾市の普天間飛行場に、8月中にも米海兵隊の垂直離着陸機MV22 オスプレイを強行配備しようとしています。オスプレイは、開発段階から何度も墜落事故を繰り返し30人が死亡。実践配備されてからも2010年にアフガンで墜落し、4人が死亡。本年4月にはモロッコで墜落し、2人が死亡。さらに6月には米国で墜落し、5人が負傷。まさに世界でもっとも危険な軍用機です!

アメリカの国防長官が言った「世界一危険な普天間基地」に、墜落事故を繰り返す欠陥機オスプレイを強行配備することは、「県民の命を危険にさらし、県民に墜落と死の恐怖を押し付ける」(那覇市議会決議より)沖縄差別に満ちた暴挙です!

私たちは絶対に許せません!!

沖縄では、県知事の反対声明をはじめ、県内の全ての41市町村議会での反対決議、県民の9割の反対と、まさに「オール沖縄」で配備に反対しています。

県民の怒りは日ごとに高まり、さる6月17日には、宜野湾市主催でオスプレイ配備に反対する市民大会が5,200名の結集のもと開催されました。

6月26日には、沖縄県議会で2度目の反対決議が全会一致で可決されました。

今後は、県議会の呼びかけで超党派での県民大会の開催が予定されています。この首都圏においても私たちは、沖縄県民の命を軽んじる日本政府に対して、配備の中止を求める大きな声を突きつけてゆこうと共同の呼びかけで署名活動を行いながら、

県民大会当日に、沖縄現地と呼応したオスプレイ配備に反対する大きな集会を開催したいと計画しています。

そのための波状行動の一環としての7・11集会に、是非多くの皆さんが集まれるよう強く呼びかけます!

集会日時;2012年7月11日(水) 18時30分開場・19時開始

集会場所;文京区民センター3A(ピラ裏面に地図有)★資料代として500円頂きます。

講師;栄野川 安邦(えのかわ やすくに)さん…普天間爆音訴訟原告団幹事

【呼びかけ】(順不同 6月22日現在)…フォーラム平和・人権・環境、沖縄意見広告運動、原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議、ピースポート、沖縄の闘いと連帯する東京東部集会実行委員会、全国労働組合連絡協議会、日韓民衆連帯全国ネットワーク、ピースニュース、アジア共同行動日本連絡会議、ジュゴン保護キャンペーンセンター、許すな!憲法改悪・市民連絡会、本郷文化フォーラム ワーカーズスクール、沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック

問い合わせ先;沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック(電話:090-3910-4140)